

3年間の振り返り、そしてこれから。

3月末で退任する、二人の地域おこし協力隊員。活動の振り返りとこれからの展望について話を伺いました。



▼小諸に来たきっかけ
日高 自分は知人とのつながりもあり、協力隊になる以前から小諸に来たことはありましたが、市役所や小諸の方たちのエネルギーに触れ、自分のスキルを活かせる場所だと思いき、移住を決めて協力隊となりました。

岡山 私も知人の紹介で小諸に来たことがきっかけです。〴〵いつかこんな街で生活してみたい〴〵と考えているうちに、協力隊になっていました。でも登山が好きで長野県にはよく来ていたにも関わらず、紹介されるまで小諸のことは何も知らなかったです(笑)



NOVELSは昨年オープンした複合施設。岡山氏は今日も街に笑顔を届けています▶



▶詳細は
こちら

▼生活について
日高 小諸の前は香川県に住んでいましたが、正直生活に大きな変化は無く、ストレスフリーで生活に馴染めました。暑いのが苦手なので気候もすごく気に入っています。最近の異常気象で小諸の夏もかなり暑いですね(笑)

岡山 私は移住が決まってから運転免許を取りました。最初の一年間は自動車無しでしたが普通に生活できましたし、買い物なども特に困ったことは無かったです。また日高さんに連れ出してもらった、地元の人の集まりにも参加させて

ただいたり、すぐに生活にも馴染むことができました。

▼地域の方とのつながり
日高 ほど良いつながりと距離感を保ってくれる方が多く、前面に出ることがあまり得意ではない自分には、とても生活しやすいです。

岡山 表現が難しいのですが、本当に〴〵人が良いですね。あと私がずっと思っているのは、小諸の方って小諸のことが大好きだと感じています。例えば私が横浜出身だと話をすると「横浜の方が絶対良いよ」ってよく言われますが、私からしたら小諸の方がずっと輝いて見えました。横浜では〴〵この街が好き、この街に住んでいるという属性のようなものを感じている人は少なかったように思います。主体性を持ってこの街に住んでいるんだなって強く感じています。

▼地域おこし協力隊としての活動
日高 シティプロモーション担当として写真や動画をメインに活動し、時間が経っても見られるコンテンツを作るよう努めました。その中で、小諸は面白いことに対するモチベーションが高い方が多いと感じていました。何か企画をする時に、自分が考えていた以上のアイデアを出してくれるというか「もっとこうしよう」「こんな企画があるけど、一緒にやらない？」という話も多かったですね。加え

て、自分は地元の人気がついていない小諸の魅力を写真で表現するのが好きなんです。SNSを見た人から「こんなところもあるから行ってみたい」と知らせてくれたりするので、活動に興味を持ってきてくれるんだなと感じました。

岡山 私は最初、都市計画課でまちタネ広場の担当として着任しました。横浜でやってきたコミュニティマネージャーの経験を活かして、まちタネ広場で地元の人や移住者をつなぐ〴〵という役割でした。楽しく仕事をさせていただきましたし、当時できたつながりが、今のNOVELSにも役立っています。ちなみにNOVELSは最初から構想があったわけではなく、移住して小諸での生活がすごく楽しくて、地元や観光局の方と接するなか、事業者の方が楽しそうに仕事をやるのを見て、一緒に何かやってみようと思いついた感じ(笑)。地元の人、観光客、移住者みんなが集い、情報が集まってくる場所にしたという想いがあります。実際オープンしてみると、70年以上住んでいる市民の方、移住希望者、移住して間もない方など、多様な方に来訪いただいています。あと、小諸ってマルシェがあるのがすごく大きいと思っています。いきなり移住したり開業するのは正直ハードルが高い。また移住とまではいなくても小諸と何かしらのカタチで関わりたいと考えている人もいます。そういう立場の人からすると、マルシェって小諸の雰囲気

を掴めるすごくいい存在だと思いますね。

日高 マルシェは色々な種類のお店が出てたさんの人が来るし、「どこから来たの?」「地元のお店なのね」とみたいな会話がすごく多く、小諸市内外の人をつなぐ大切な接点になっていると思います。

岡山 小諸の方って元氣だしポテンシャルがあると本当に思います。「新幹線が通らなくて廃れてしまった」という話をよく聞きましたが、今でも地域が主体の神輿、飲み会、イベントがたくさん残っていて、皆さん楽しんでいらっしやる。私たち協力隊もそれに乗っけてもらい活動してきた感じです。

日高 協力隊でできることは限られているなか、小諸には協力したくなる人、イベント、コンテンツがたくさんありました。活動しやすい環境に感謝しています。

▼これからの展望
日高 小諸はこれからまだまだ盛り上がりと思っていますし、自分のスキルも活かせると考えています。退任しても写真と映像の力でサポートしていきたいです。

岡山 NOVELSを中心とした協力になると思いますが、小諸市内外の方が関係なく、交流拠点となるよう頑張りたいです。オープンして半年ですが、私の想像以上に皆さんに使ってもらっていて本当に感謝しています。10年後20年後に「NOVELSが移住のきっかけになったよね」「NOVELSのおかげで暮らしが楽しくなった」と言ってくれる人が増えるといいなと思っています。

日高・岡山 これまでありがとうございました!今後とも引き続き、よろしくお願いたします!



◀日高氏の作品の一例。シティプロモーション用の写真や動画も手がけています。

シティプロモーション
Instagram▶



協力隊を退任しても、自分のスキルを活かしたサポートを――。

NOVELSが小諸市民、移住者、観光客、みんなが集える場所になるように――。

日高 慎一郎 × 岡山 千紗

Hidaka SHIN-ICHIRO

Okayama CHISA

Profile
 日高 慎一郎 (41)
 1983年生まれ
 大阪府大阪市出身
 R4/5月に協力隊に着任
 プロカメラマン

【好きな食べ物】白米、鳥の唐揚げ、卵焼き、焼き鳥、ラーメン、炒飯、焼肉、寒ぶり、海老マヨ

Profile
 岡山 千紗 (26)
 1998年生まれ
 神奈川県横浜市出身
 R4/8月に協力隊に着任
 コモロノ株式会社チーフマネージャー

【好きな食べ物】ポテト

